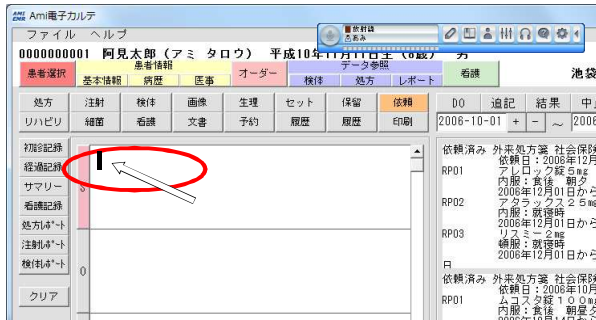


# AmiVoice® Ex7 簡易操作マニュアル (ステップ ①)

## 【通常操作の仕方】

①入力したいところをマウスでクリックします。



②マイクの赤いしるしのついたボタン(RECORDボタン)を押下しながら、マイクを口に近づけて(マイクと口の距離が3~5cm程度)、発話します。



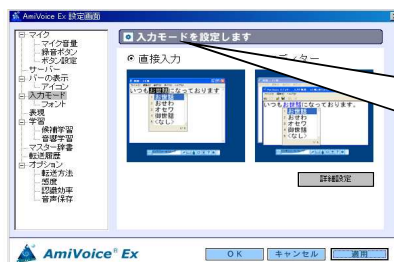
③話した内容が文字化されカーソル位置に表示されます。

頭部 MRI。

FLAIR 像及び T2 強調画像で high intensity を示す点状病変が左大脳基底核領域、放線冠、半卵円中心、側脳室周囲に認められる。

以上の所見は多発ラクナ梗塞及び深部白質、

④後ろのボタンを押すと、確定となります。  
後ろボタン無しでも次の発話を関知すると前部が確定します。



注) 設定→入力モード「直接入力」の設定になっている時の入力方法です。

**ポイント!**

**音声認識は前後関係を見て認識します。  
単語発話ではなく、文章で発話しましょう。**

(例文) 脳実質に挫傷や血腫などの外傷性変化は認められません。

(×) のうじつ にぎしやけつしゅなどのがいしやせいへんかはみとめられません  
(◎) のうじつ にぎしやけつしゅなどのがいしやせいへんかはみとめられません まる

# AmiVoice® Ex7 簡易操作マニュアル (ステップ ②)

文字を修正してみよう！

## ① 選択肢から修正



ROCORD

肝内に多発性腫瘍が散在している。

EOL(下に)

かんないに多発性腫瘍が散在している。

INS(上に)

- 1 肝内
- 2 かんない
- 3 カンナイ
- 4 管内
- 5 <なし>

選択肢から修正出来ます

<<左に >>右に カーソル移動します  
選択肢はEOLボタン(選)で下に動きます  
EOL選択後はINSで上に戻ります

※INSボタンはEOL選択前と選択後で動作が異なります

## ② 上書きモードに慣れよう → EOL未選択時



**肝内に多発性腫瘍が散在している。**

発話内容を取り消し、再入力する場合は「INS」キーを押すと「上書きモード」になります。  
素早く再入力する場合に御使用ください。

※発話直後確定前の場合、BackSpaceで取り消すことも出来ます。

スピーチマイクには数多くのボタン機能があります。  
ボタン操作に慣れると、手元で多くの操作ができるようになります。

また、同等の操作はキーボードでも行えます。

## ポイント！

ボタンのカスタマイズでより便利になります。  
「BackSpace」や「Del」「Enter」などが使えます。

SpeechMikeから手を離さないことで、入力時間短縮につながります。

